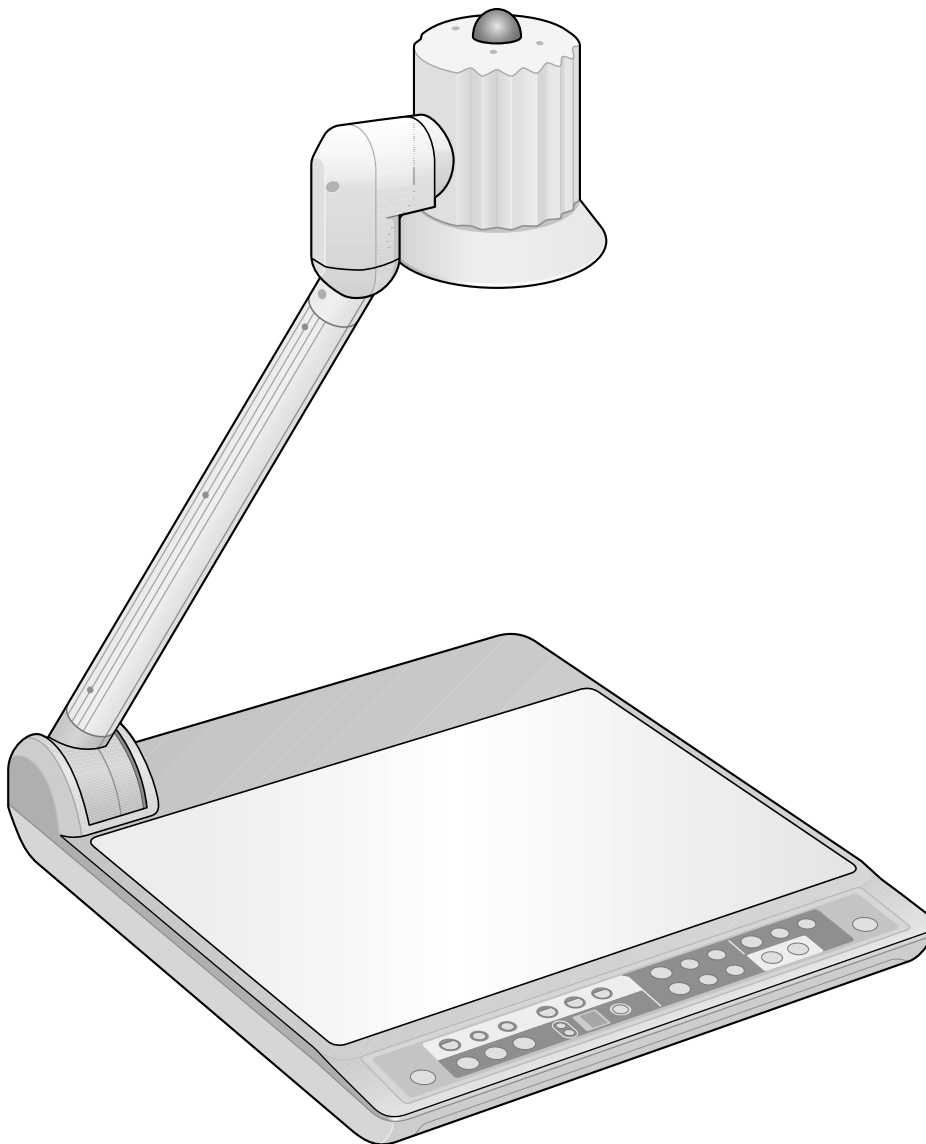


XGA Digital Presenter
DV11G/DV11J
User's Manual



- English
- Deutsch
- Français
- Italiano
- Español
- Svenska
- 日本語

XGAデジタル資料提示装置

DV11J

取扱説明書

日本語

はじめに

このたびは、NEC XGAデジタル資料提示装置 DV11J(以降「DV11J本体」を「本機」と呼びます)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、プロジェクタやディスプレイモニタ、テレビなどに接続し、文書や教材などを撮影して画面に大きく鮮明に映す資料提示装置です。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本機は、日本国内向けモデルです。

本書の日本語の説明は、日本国内でのご使用を前提にしています。ヨーロッパまたは北米地域でご利用する場合は、本書の英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語のいずれかの説明をお読みください。

保証と修理サービスは、お買い求めになられた国により異なります。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。




本機を安全にお使いいただくために、 ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告

添付の電源コード以外は使用しない



日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。

添付の電源コードは国内使用専用です。

日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。

詳細に関してはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に



電源コードは大切に取り扱ってください。

コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない
- ・コードの上に重い物をのせない
- ・コードを本機の下敷きしない
- ・コードの上を敷物などで覆わない
- ・コードを傷つけない、加工しない
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・コードを加熱しない

電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

煙が出ている、変なにおいや音がする場合や本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。また本機の上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。

- ・雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・風呂やシャワー室で使用しない
 - ・本機の上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・本機の上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- ・暖房の近くや振動の多い所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・油煙や湯気の当たるような場所
- ・調理台や加湿器のそば

内部に物を入れない



異物挿入禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

本機のキャビネットを外したり、あけたりしないでください。

また改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

⚠ 警告

カメラヘッドを覆わない



カメラヘッドを布などで覆わないでください。熱がこもり火災の原因となります。

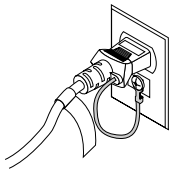
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

機器のアースは確実にしてください



本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細はJ-13ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機を立てかけて保管しない



本機を立てかけて保管しないでください。倒れたりしてけがの原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

長期間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

持ち運ぶときにカメラアームおよびカメラヘッドを持たない



持ち運ぶときにカメラアームおよびカメラヘッドを持たないでください。カメラアームやカメラヘッドが変形し、カメラアーム内のコードが断線したりして、火災や感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
- ・指定以外の電池は使用しない
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- ・電池を入れるときは、極性(+ と - の向き)に注意し、表示どおりに入れる

使用上のご注意

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

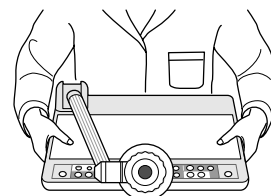
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

ステージ面への外光対策をしてください。

ステージ面には、照明など本機以外からの強い光が入らないようにしてください。

持ち運びについて

本機側面を持って運んでください。また、本機には強い衝撃を与えないでください。



カメラレンズは素手でさわらないでください。また、ほこりやたばこの煙の多い場所では使用しないでください。

カメラレンズに指紋や汚れが付くと、正常な撮影ができなくなることがあります。

カメラレンズが汚れている場合は、市販のカメラ用のレンズクリーナーで清掃してください。その際、レンズを傷つけないようご注意ください。

ステージ面について

ステージ面に汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。ステージ面に揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

直射日光のあたる所、暖房器具の近くには放置しないでください。

本機が汚れたら中性洗剤などを含ませた布をかたくしぼって汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤などの揮発性のものはかけたりしないでください。変形、変色、故障することがあります。また、丸洗いはしないでください、故障の原因になります。

廃棄について

本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

目次

はじめに	J-2	使用方法	J-14
本機を安全にお使いいただくために、 ご使用の前に必ずお読みください	J-3	電源を入れる	J-14
使用上のご注意	J-6	資料を写す	J-14
目次	J-7	周囲を写す	J-14
特徴	J-7	斜め撮影時の台形歪みを補正する	J-16
本書について	J-7	画像メモリを使う	J-16
添付品の確認	J-8	パソコンに画像メモリの内容を転送する ...	J-17
各部の名称	J-8	電源を切る	J-17
操作パネル	J-9	故障かな?と思ったら	J-18
背面パネル	J-10	付録	J-20
リモコン	J-11	仕様	J-20
ご使用の前に	J-12	外形寸法	J-21
ケーブルの接続と出力方法の設定	J-12	保証と修理サービス(必ずお読みください) ...	J-22
電源コードの接続	J-13		
カメラアームのセット	J-13		

特徴

高画質 / 鮮明な画像表示

XGA(1024×768)の高画質で鮮明な画像を撮影できます。

45倍ズーム

光学15倍、デジタル3倍ズーム機能を搭載していますので、資料を細部まで拡大できます。

照明一体カメラ

カメラヘッドに照明を配しましたので空間をフリーに活用できます。

カメラヘッド回転 / 可動式アームを採用

本機を移動しなくても全方向の撮影が可能です。

台形補正機能

斜め方向から撮影した資料を、あたかも真上から撮影したように補正できます。

長寿命の冷陰極管ランプを採用

8枚の画像を記憶できる画像メモリ

あらかじめ画像を本機に記憶しておくことができます。

カメラの画像と画像メモリの静止画を切り替えながらスピーディーなプレゼンテーションができます。

紙押さえ機構を搭載

市販のマグネットを使って資料を押さえることができます。

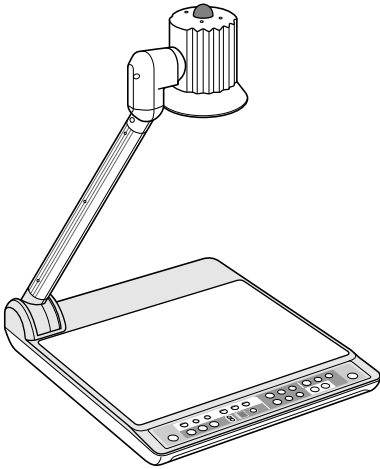
本書について

本機の操作パネルのボタンやリモコンのボタンの名称は  で囲んでいます。

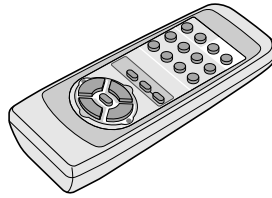
添付品の確認

万一添付品が不足している場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

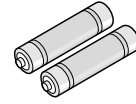
本機



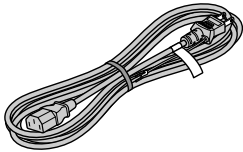
リモコン
(09N999215)



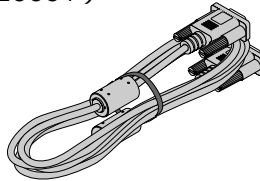
単3乾電池 × 2本
(リモコン用)



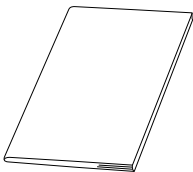
電源コード
(07N080108)



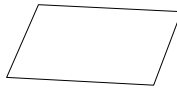
RGB信号ケーブル(ミニD-Sub 15ピン)
(07N520001)



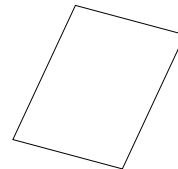
取扱説明書(本書)



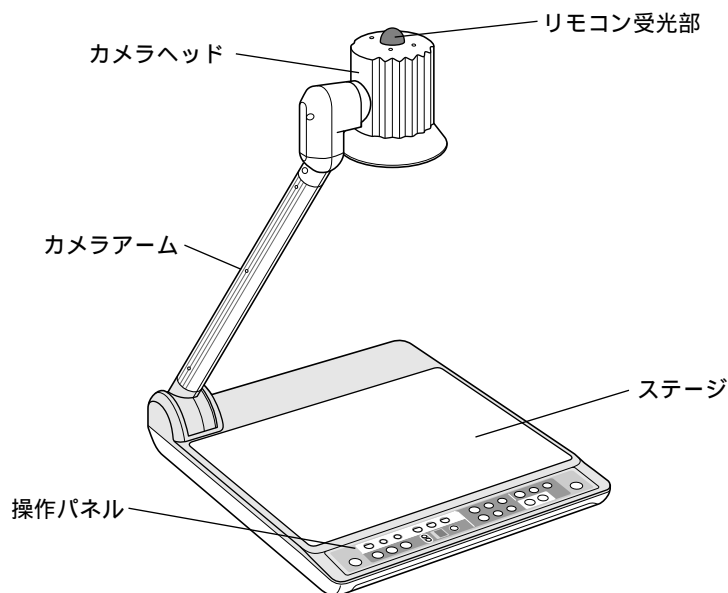
保証書



NECフィールディング株式会社
支店・営業所所在地一覧表



各部の名称



操作パネル

WHITE BALANCE (ホワイトバランス)

白の色あいを調整します。

AUTO (自動)

白の色あいを自動で調整します。ボタンを押す前に、白い紙を画面いっぱいに写し、明るさを合わせてください。調整中のときはインジケータが点灯します。

周囲の照明状態が変わったときは再度ホワイトバランスを調整してください。

BLUE (青)

白の色あいを青みがかったものにします。

RED (赤)

白の色あいを黄色みがかったものにします。

(注意) ホワイトバランスの調整は、本機の電源を切ると工場出荷設定値に戻ります。調整値を記憶して使用するにはJ-15ページをご覧ください。

BRIGHTNESS (明るさ)

画像の明るさを調整します。

AUTO (自動)

画像の明るさを自動で調整します。調整中はインジケータが点灯します。

DARK (暗)

画像を暗くします。

BRIGHT (明)

画像を明るくします。

KEystone (台形補正)

斜め撮影時に生じる台形歪みの補正を行います。または補正を解除します。(J-16ページ参照)

ON/OFF (オン/オフ)

台形補正を行う/行わないを切り換えます。台形補正を行うときにインジケータが点灯します。

+
-
台形補正を微調整します。

REAL/FREEZE

(動画/静止画)

動画モードと静止画モードを切り替えます。動画を選択しているときにインジケータが点灯します。

LIGHT (ライト)

ライトを点灯します。押しごとに次のようになります。「メインライト点灯・ベースライト消灯」「メインライト消灯・ベースライト点灯」「メインライト、ベースライトともに消灯」

SOURCE (映像選択)

出力のもととなる入力を選択します。現在選択している入力のインジケータが点灯します。

CAMERA (カメラ)

カメラ画像を選択します。

MEMORY (メモリ)

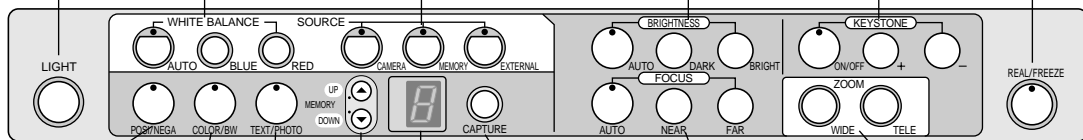
画像メモリに記憶している画像を選択します。

(注意) デジタルズームは解除されます。

EXTERNAL (外部入力)

RGB入力端子に入力している画像を選択します。

(注意) ディップスイッチ4でビデオ出力が選択されているときは、EXTERNAL (外部入力) は選択できません (J-10ページ参照)。



POSI/NEGA (ポジ/ネガ)

ネガ変換して出力します。もう一度押すとポジに戻ります。ポジを選択しているときにインジケータが点灯します。

COLOR/BW (カラー/白黒)

白黒で出力します。もう一度押すとカラーに戻ります。カラーを選択しているときにインジケータが点灯します。

TEXT/PHOTO (テキスト/写真)

テキスト (文字) 原稿に適した出力と写真原稿に適した出力を切り替えます。テキストを選択しているときにインジケータが点灯します。
(注意) POSI/NEGA (ポジ/ネガ) でネガモードが選択されているときは、TEXT/PHOTO (テキスト/写真) の選択はできません。

CAPTURE (キャプチャー)

画像メモリに画像を書き込みます。
(注意) 電源を切ると、メモリの内容は消去されます。

画像メモリ番号表示
選択している画像メモリの番号が表示されます。

MEMORY (メモリ)

画像メモリを選択します。
UP (上)
次の画像メモリを選択します。
DOWN (下)
ひとつ手前の画像メモリを選択します。

ZOOM (ズーム)

撮影する画像の範囲を変更します。
WIDE (縮小)
より広い範囲を撮影します。
TELE (拡大)
領域の一部を拡大して撮影します。
(注意) 光学15倍ズーム以上はデジタルズームになります。デジタルズームは1段階ずつボタンを押して倍率を変更してください。デジタルズームでは画質が劣化することがあります。

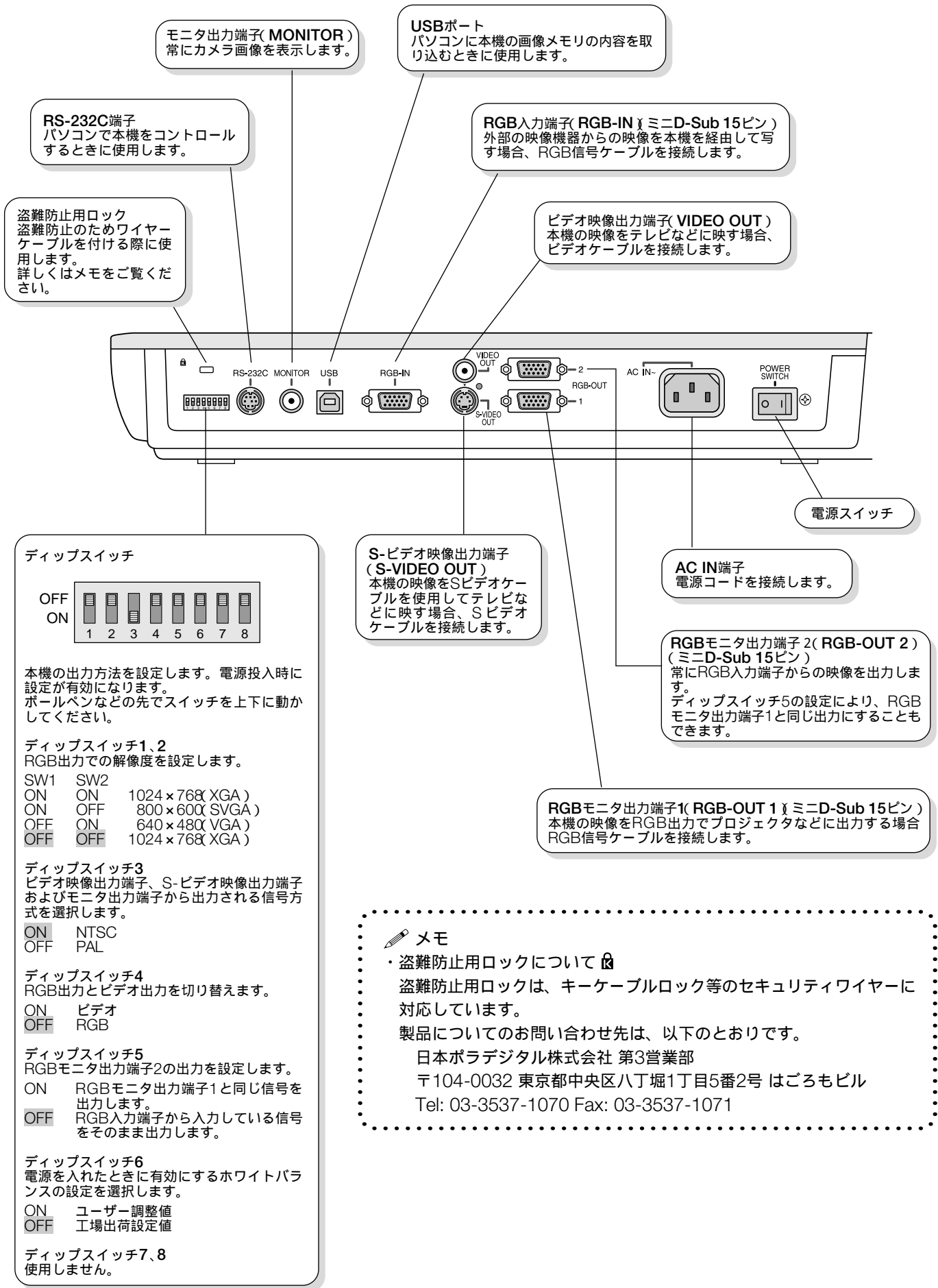
FOCUS (フォーカス)

カメラ画像のフォーカスを合わせます。
AUTO (自動)
カメラ画像のフォーカスを自動で合わせます。調整中はインジケータが点灯します。
NEAR (近)
フォーカスをカメラ側に近づけます。
FAR (遠)
フォーカスをカメラ側から遠ざけます。

メモ

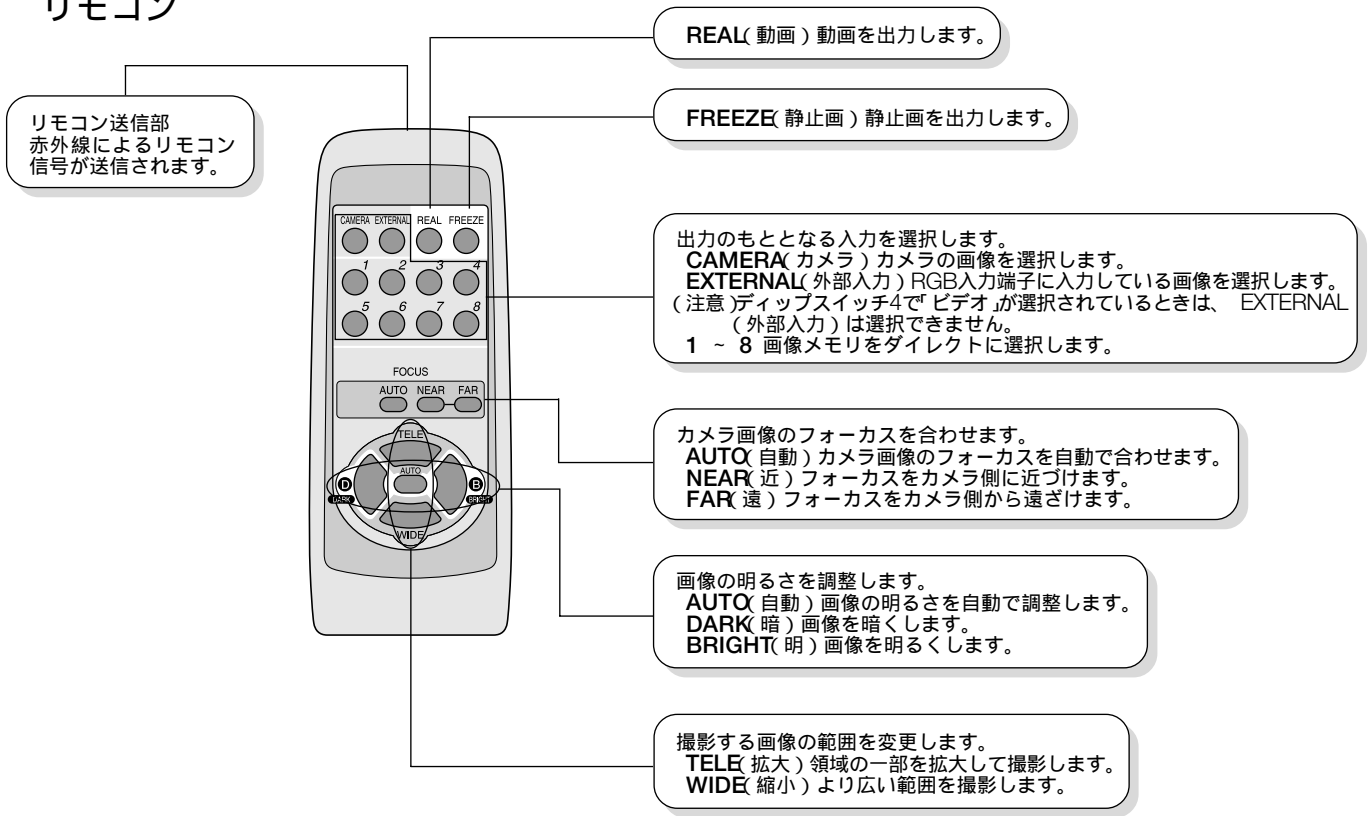
- ・メインライトは、カメラヘッド内にあるライトで、印刷物などを撮影する場合に点灯します。また、ベースライトはステージ内にあるライトで、透過原稿を撮影する場合に点灯します。各ライトの点灯、消灯の組み合わせかたはJ-15ページのメモ内の「ライト使用のめやす」をご覧ください。

背面パネル



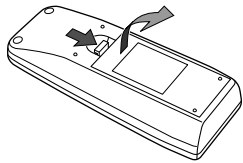
は各スイッチの工場出荷設定を表しています。

リモコン

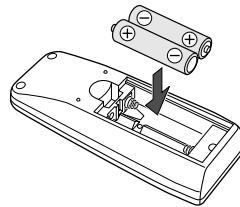


・電池の入れ方

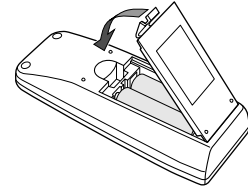
図のようにリモコン背面の電池ケースのふたを外します。



ケース内部の表示通りに +、- の向きを合わせて乾電池を入れます。

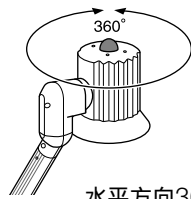


もと通りふたを戻します。

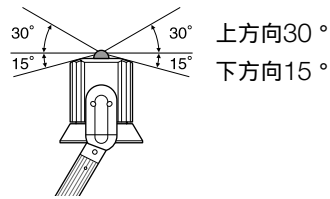


・有効範囲

リモコン送信部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。おおよそ次の範囲でリモコンの信号が受信できます。なお、リモコン信号の到達距離は4mです。



水平方向360°



上方向30°
下方向15°

🔑 リモコン使用上のご注意

- ・リモコン受光部に直射日光や強い照明(インバータ蛍光灯、ストロボライト) 赤外線などが当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明または本機の向きを変えてください。
- ・リモコンとリモコン受光部の間に人がいたり、障害物があると、受信できないことがあります。また、周囲の被写体を写すときなどのように、カメラヘッドの向きを回転させたりカメラアームの角度を変えたりしてリモコン受光部が見通せなくなると、受信できないことがあります。
- ・リモコンは落としたり衝撃を与えると内部構造や電子部品が損傷を受けるおそれがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・電池が消耗すると受信しにくくなります。この場合は電池を新しいものと交換してください。

ご使用の前に

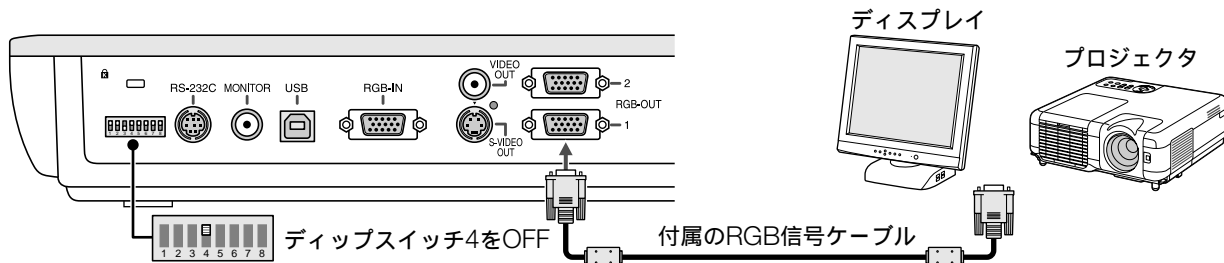
ケーブルの接続と出力方法の設定

本機の映像を表示する機器とケーブルで接続します。RGB出力またはビデオ出力を選択できますが、本機の電源を入れる前に出力方法を背面パネルのディップスイッチであらかじめ設定しておく必要があります。

・RGBで出力する場合

ディップスイッチ4をOFFに設定します。

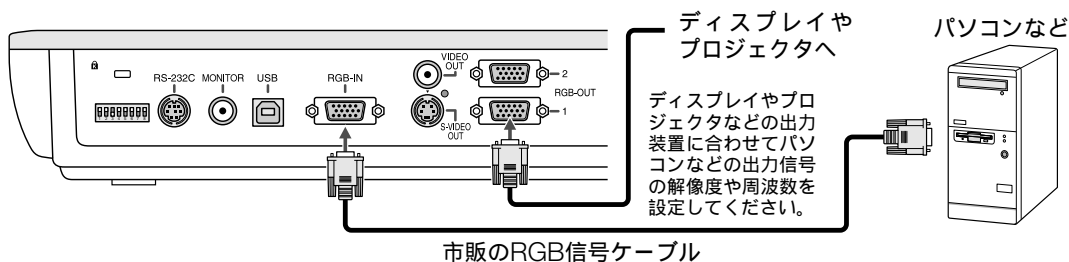
RGBモニタ出力端子1 (RGB-OUT 1) をプロジェクタやディスプレイなどの映像機器のRGB入力端子と接続します。



ディップスイッチ5をONに設定すると、RGB出力端子2 (RGB-OUT 2) にもプロジェクタやディスプレイを接続し、同じ信号を2系統で出力できます。

メモ

- ・RGBで出力する場合に限り、パソコンなどのRGB出力信号を、本機を経由してそのまま出力できます。RGB入力端子をパソコンなどのRGB出力端子と接続します。



- ・ディップスイッチ5をOFFに設定すると、RGB出力端子2の出力信号は常にRGB入力端子の信号と同じになります。カメラ画像とRGB信号を切り替えながら使用する場合、パソコン操作用のディスプレイをRGB出力端子2 (RGB-OUT 2) と接続しておく、カメラ画像を選択しているときでもディスプレイを見ながらパソコンを操作できます。

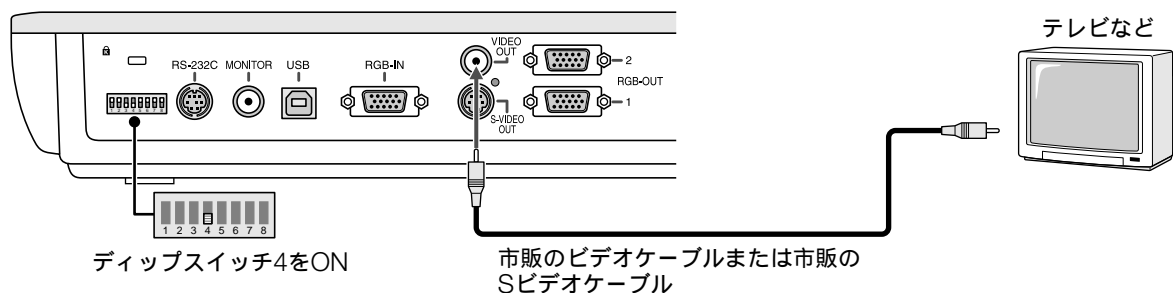
注意

- ・本機背面のディップスイッチ1、2の設定は反映されません。
- ・本機のRGB入力端子から入力された信号(表示画面)をメモリに保存することはできません。

・ビデオ信号で出力する場合

ディップスイッチ4をONに設定します。

ビデオ映像出力端子をテレビなどの映像機器のビデオ映像入力端子と接続します。

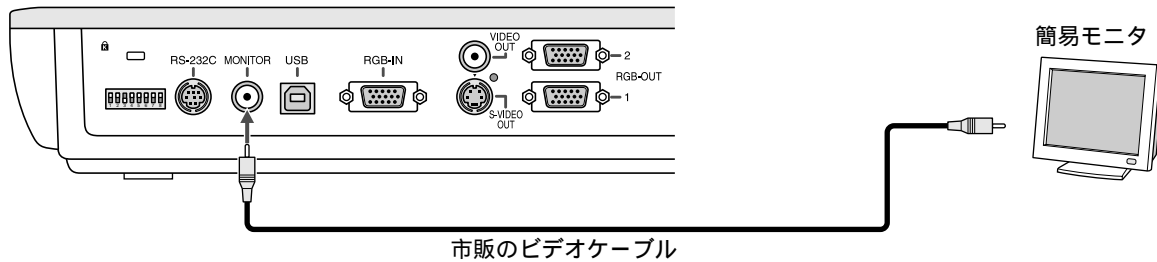


注意

- ・ディップスイッチ4をONに設定すると、SOURCE(映像選択)のEXTERNAL(外部入力)は選択できなくなります。

・簡易モニタの接続

RGB出力、ビデオ信号出力にかかわらず簡易モニタをモニタ出力端子に接続できます。



カメラ画像が常に表示されますので、大きさの異なる資料に交換する際、前もって表示範囲に収まっているか確認できます。

注意

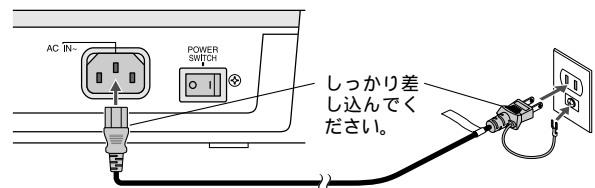
- ・簡易モニタの表示は、プロジェクタやディスプレイなどの表示と比べて若干横長になります。
- ・簡易モニタの特性や出力信号の種類によって、表示範囲が異なる場合があります。正確な表示位置は、実際のプロジェクタやディスプレイなどの表示で確認してください。
- ・台形補正機能は、はたらきません。
- ・RGBモニタ出力端子1/2からの映像に比べて画質は劣化します。
- ・ビデオ映像出力端子からの映像に比べて画質が劣化し、色あいも異なることがあります。

電源コードの接続

背面パネルのAC IN端子に電源コードを接続し、プラグをコンセントに接続します。

注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実に
 にとってご使用ください。感電の原因となりますので、
 アース工事は専門業者にご依頼ください。
 アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに
 差し込む前に行ってください。
 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコ
 ンセントから抜いてから行ってください。

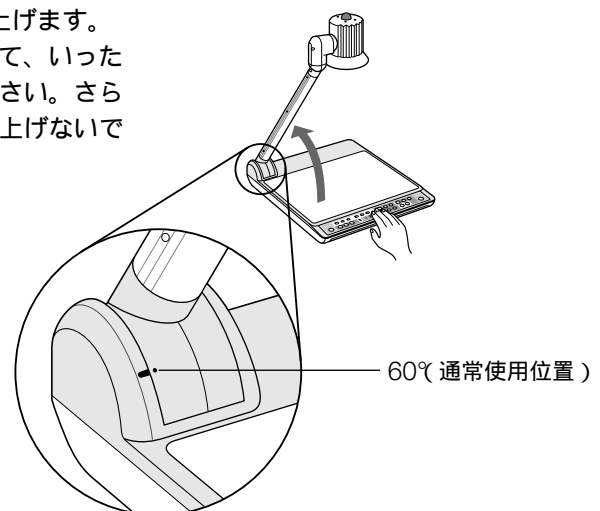


カメラアームのセット

本機を手で押さえながら、カメラアームを図の方向に軽く引き上げます。
 ステージとカメラアームの角度が60°になると「カチッ」と音がして、いっ
 たんカメラアームが固定されます。通常は60°の位置でご使用ください。さら
 に80°の位置まで引き上げることができますが、それ以上は引き上げないで
 ください。

注意

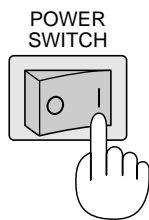
カメラアームを引き上げるときは必ず本機を手で
 押さえながら行ってください。手で押さえないと、本機が浮き上がりけがの原因となることが
 あります。



使用方法

電源を入れる

背面パネルの電源スイッチを「**I**(入)」にします。

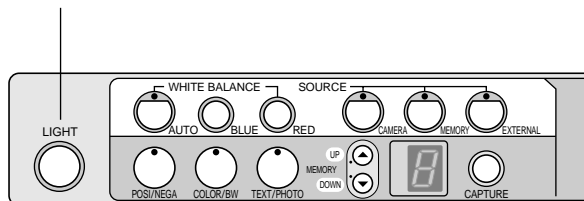


操作パネルのすべてのインジケータが約10秒間点灯します。

資料を写す

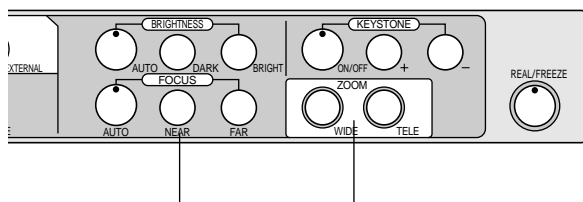
資料をステージの上に置きます。

室内の状況や撮影する資料に応じてメインライトを点灯したり、ベースライトを点灯したりします。各ライトの使用方法は、次ページの表を参考にしてください。



ZOOM(ズーム)で撮影するサイズを決定します。

FOCUS(フォーカス)を調整します。

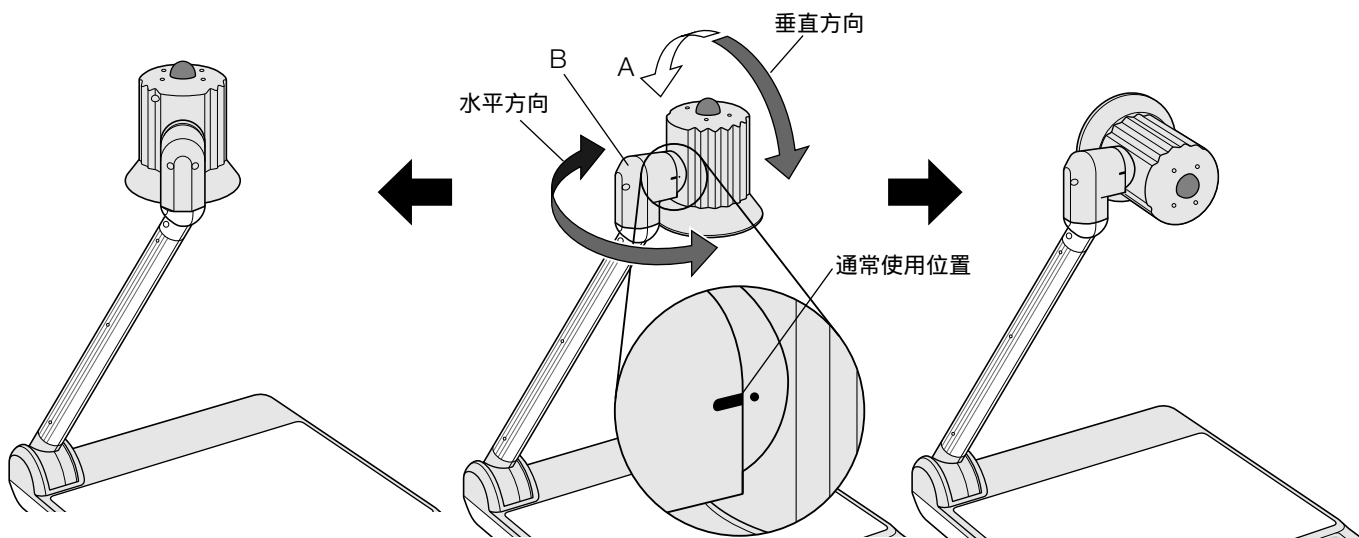


メモ

- ・文字が多い資料を写す場合、テキストモードにすると文字の輪郭が強調されて文字が読みやすくなります。

周囲を写す

本機のカメラヘッドを回転して写したい方向に向けます。



注意

- ・カメラヘッドは、垂直手前方向(A)には回転しません。無理に回転させると故障の原因となります。
- ・水平方向に回転させるときは、カメラヘッドの根本(B)部分を持って動かしてください。

メモ

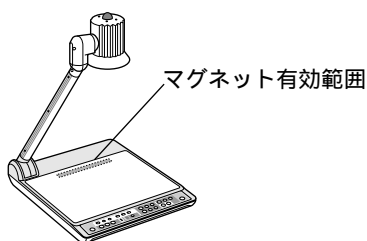
- 資料が反射してしまう場合は、メインライトを消灯してください。また、カメラアームの角度を調整して斜めから写してみてください。

ライト使用のめやす

	メインライト	ベースライト
印刷物	ON	OFF
立体物	ON	OFF
OHPフィルムなどの透過原稿	OFF	ON
光沢紙などの、資料が反射する原稿	OFF	OFF

室内が明るい場合には、メインライトを消灯した方が、良好な画像が得られる場合があります。

- 明るさの調整は、メインライトのON/OFFとBRIGHTNESS(明るさ)のボタンの両方で行ってください。
- ホワイトバランスを調整した状態を記憶するには、CAMERA(カメラ)ボタンを3秒以上押します。WHITE BALANCE(ホワイトバランス)のAUTO(自動)ボタンのインジケータが1回点滅して、調整値が記憶されます。ディップスイッチ6をONに設定すると、次回電源を入れたときにその調整値が有効になります。
- 資料を交換する場合は REAL/FREEZE(動画/静止画)ボタンを押して静止画にしておくと、資料交換の場面を隠せます。
- 市販のマグネットを使って資料を固定できます。

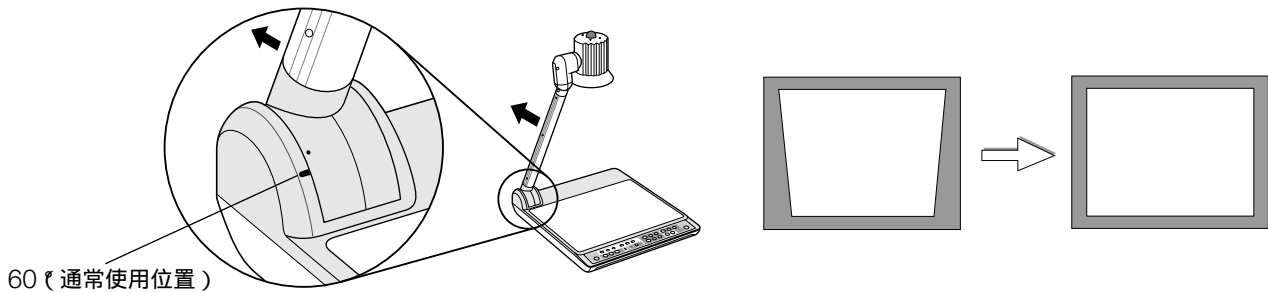


斜め撮影時の台形歪みを補正する

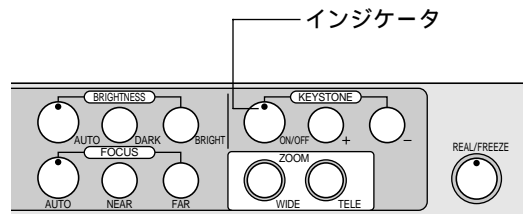
カメラアームを通常使用位置(60°)から引き上げて(80°)、斜め方向から資料を撮影したときに生じる台形の歪みを補正します。

台形の狭い方の幅を広い方の幅に合わせて調整し、歪みの少ない画像を得ることができます。

A4サイズ縦型の資料を画面内におさめるときや、資料に外光やメインライトの光が反射するのをさけて撮影するときなどに行います。



台形補正機能がはたらいているときは、KEYSTONE(台形補正)のON/OFF(オン/オフ)ボタンのインジケータが点灯します。台形補正機能を解除する場合は、ON/OFF(オン/オフ)ボタンを押します(インジケータが消灯します)。歪みが補正しきれないときは、+ - ボタンで微調整してください。



注意

- ・カメラアームを通常使用位置から引き下げて斜め撮影したときは、台形補正機能ははたらきません。
- ・立体物を斜め撮影するときは、台形補正をオフに設定してください。
- ・台形補正機能の使用中にプロジェクタやディスプレイなどの自動調整機能を使って入力信号を調整すると、カメラアームを通常使用位置に戻したときに画像が正常に表示されないことがあります。このようなときは、再度自動調整を行ってください。
- 台形補正機能の使用中は
 - ・画像の幅が狭くなります。
 - ・画質が劣化することがあります。
 - ・光学ズームの倍率が低くなります。
 - ・フォーカスが合わないことがあります。

画像メモリを使う

画像をあらかじめ取り込んでおき出力することができます(8枚まで)。

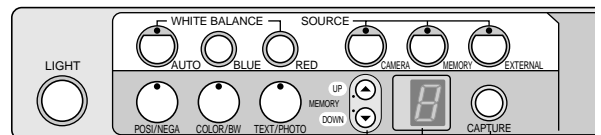
画像を取り込む

取り込み先となる画像メモリを UP(上) DOWN(下) ボタンで選択します。

選択されている画像メモリの番号はインジケータに表示されます。

CAPTURE(キャプチャー) ボタンを押します。

画像メモリに画像が記憶されます。



インジケータ

注意

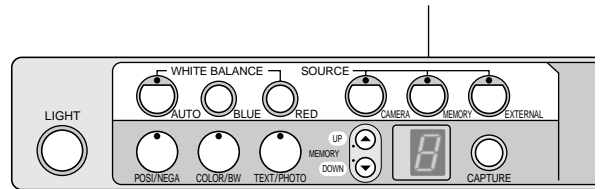
- ・SOURCE(映像選択)で EXTERNAL(外部入力)または MEMORY(メモリ)が選択されているときは記憶できません。
- ・デジタルズーム使用中にキャプチャーすると、デジタルズーム使用前の画像が記憶されます。

・画像メモリに記憶した画像を出力する

SOURCE(映像選択)のMEMORY(メモリ)ボタンを押します。

現在選択されている画像メモリの内容が出力されます。

画像メモリの選択はUP(上)DOWN(下)ボタンを押して行います。



メモ

- ・リモコンの1～8までのボタンを押すとダイレクトに画像メモリを選択できます。
- ・電源を切ると取り込んでいた画像は消去されます。

パソコンに画像メモリの内容を転送する

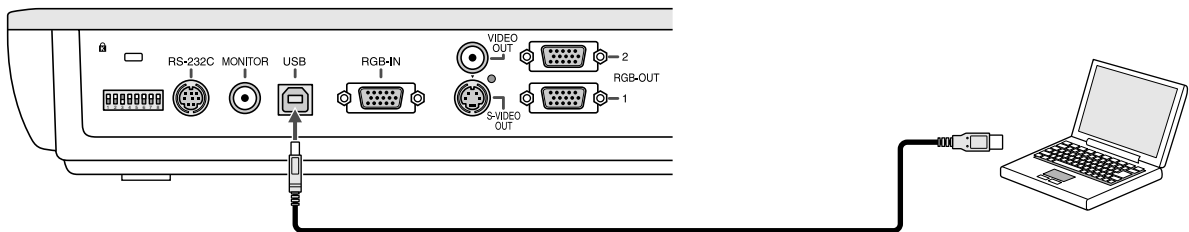
USBケーブルを使用して、画像メモリの内容をJPEGファイルの形式でパソコンに転送できます。

メモ

- ・Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition および Windows XP Professionalを搭載し、USB Ver. 1.1に対応したパソコンにのみ転送できます。

・ケーブルの接続

背面パネルのUSBポートに市販のUSBケーブル(USB規格 Ver1.1準拠品)の角型の端子(タイプB)を接続します。USBケーブルのもう一方の端をパソコンのUSBポート(タイプA)に接続します。



・転送方法

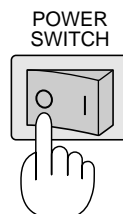
パソコンの「マイコンピュータ」に本機がドライブとして認識され、画像メモリの内容がJPEGファイルとして表示されます。JPEGファイルをコピーしてパソコンに転送してください。

注意

- ・パソコンに画像メモリの内容を送信している場合など、パソコンとの通信中は画像メモリ番号表示に「U」と表示されます。「U」と表示されているときは、本機の操作は行えません。しばらくお待ちください。
- ・キャプチャーした日時はJPEGファイルの情報として保存されていません。
- ・台形補正機能を使用中にキャプチャーした画像は、パソコン上では補正前の状態で表示されます。

電源を切る

背面パネルの電源スイッチを「○(切)」にします。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の内容をお調べください。それでも異常なときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

現象	この点を確認してください。	参照ページ
画像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが壁側のコンセントから外れていませんか。 電源スイッチが入っていますか。 プロジェクタやディスプレイと正しく接続されていますか。 明るさの設定は適切ですか。 SOURCE(映像選択)のEXTERNAL(外部入力)やMEMORY(メモリ)が選択されていませんか。CAMERA(カメラ)を選択してください。 画像のモードの設定は適切ですか。接続するプロジェクタやディスプレイの仕様に合わせて設定してください。 背面パネルのディップスイッチの設定は適切ですか。 	J-13 J-14 J-12 J-9 J-9 J-10
画像のフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿被写体がレンズに近すぎ、ステージ面から88mm以上の高さになっていませんか。 フォーカスを合わせた後、ズームを変更していませんか。フォーカス合わせはズームを設定した状態で行ってください。 FOCUS(フォーカス)がAUTO(自動)の場合、被写体によってはフォーカスが合いにくい場合があります。FOCUS(フォーカス)のNEAR(近)FAR(遠)ボタンで合わせてください。 プロジェクタをご使用の場合、プロジェクタのフォーカスは合っていますか。プロジェクタの取扱説明書を参照して、フォーカスを合わせてください。 「静止画モード」になっている(REAL/FREEZE(動画/静止画)ボタンのインジケータが消灯)またはSOURCE(映像選択)でEXTERNAL(外部入力)またはMEMORY(メモリ)が選択されているときはカメラ画像の調整はできません。REAL/FREEZE(動画/静止画)ボタンを押して「動画モード」にし、SOURCE(映像選択)のCAMERA(カメラ)ボタンを押してカメラ画像を選択してください。 	J-14 J-9 J-9
ズームの調整ができない	<ul style="list-style-type: none"> ズームが縮小側の最大、または拡大側の最大ではありませんか。 デジタルズームになっていませんか。デジタルズームは1段階ずつボタンを押して倍率を変更してください。 	J-9
画像がかすむ ゴミが写る	<ul style="list-style-type: none"> カメラレンズが汚れていませんか。市販のカメラ用のレンズクリーナーで清掃してください。 	
画像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> メインライトは点灯していますか。 明るさの調整は適切ですか。 	J-9 J-9
印刷物の画像に縞模様 がでる	<ul style="list-style-type: none"> 印刷物の網点とカメラ撮影素子の画像が干渉して色縞が発生する場合があります。このようなときは、ズームで画像サイズを少し変えてください。 	J-9
色調がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトバランスを調整しましたか。 ネガモードまたは白黒モードになっていませんか。 	J-9 J-9
画像にビートが出る	<ul style="list-style-type: none"> 強い電波を発生する機器の近くで使用する場合、画像にビートが生じる場合がありますので、発生機器から遠ざけてください。 	
画像の調整が できない	<ul style="list-style-type: none"> 「静止画モード」になっている(REAL/FREEZE(動画/静止画)ボタンのインジケータが消灯)またはSOURCE(映像選択)でEXTERNAL(外部入力)またはMEMORY(メモリ)が選択されているときはカメラ画像の調整はできません。REAL/FREEZE(動画/静止画)ボタンを押して「動画モード」にし、SOURCE(映像選択)のCAMERA(カメラ)ボタンを押してカメラ画像を選択してください。 明るさが不足している場合、明るさの調整を行っても明るくできない場合があります。 	J-9 J-9
ボタンを押しても動作 しない	<ul style="list-style-type: none"> 同時に2つのボタンを押したり、ボタンを連打したりすると、正常に動作しない場合があります。ボタン操作は、1つずつ間隔をあけて行ってください。 	
リモコンが きかない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンに電池が入っていますか。 電池が消耗していませんか。 添付の電池は動作確認用ですので、市販のものを入れて使用してください。 使用可能な範囲外で操作していませんか。 	J-11
カメラ画像に白点 または黒点がある	<ul style="list-style-type: none"> 動画対応高画素CCDの特性上、まれに白点や黒点が現れ、デジタルズームで拡大すると目立つ場合があります。 	

現象	この点を確認してください。	参照ページ
電源投入後、数分たってもすべてのインジケータが点灯したままになっている	・故障しているので、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
画面が明滅する	・BRIGHTNESS(明るさ)を DARK(暗)側に調整して画面を暗くしてください。	J-9
USB接続した際にドライブが開かない	・接続しているUSBケーブルをいったん外し、本機の電源を入れなおしてから、再度USBケーブルを接続してください。 (注意)本機の電源を切ると、メモリの内容は消去されます。	
画像が台形に歪む	・KEYSTONE(台形補正)がオフ(ON/OFF(オン/オフ)ボタンのインジケータが消灯)になっていませんか。	J-16
	・KEYSTONE(台形補正)の + / - ボタンで微調整してください。	J-16

付録

仕様

総合

電源	AC100V 50 / 60Hz
消費電力	20W
定格入力電流	0.43A
外形寸法	標準使用時：幅420mm × 奥489mm × 高650mm 収納時：幅420mm × 奥680mm × 高190mm
質量	5.2kg

光学部

撮影レンズ	F1.6 ~ 2.6
撮影範囲	最大：344mm × 252mm(B4相当) 最小：16mm × 12mm
焦点調節可能範囲	ステージ面からステージ面上 88mm
ズーム	電動 × 15(光学) × 3(デジタル)
フォーカス	オート / マニュアル
明るさ	オート / マニュアル

カメラ部

出力動作モード	プログレッシブモード(アナログRGB) ・ 1024 × 768(XGA) ・ 800 × 600(SVGA) ・ 640 × 480(VGA) インターレースモード ・ NTSC ・ PAL
撮影素子	1 / 3型CCD
総画素数	85万画素
フレームレート	15fps
同期方式	内部同期
ホワイトバランス	オート / マニュアル
入力選択	可能(内蔵カメラ / 外部入力 / メモリ 8枚)

入出力端子

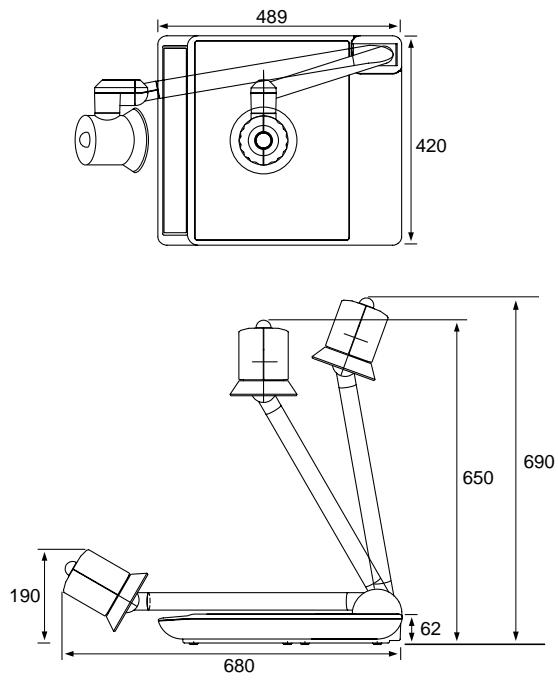
入力端子	RGB(ミニD-Sub 15ピン) × 1
出力端子	RGB(ミニD-Sub 15ピン) × 2 Sビデオ(ミニDIN4ピン) × 1 ビデオ(RCA-フォノ) × 1 モニタ(RCA-フォノ) × 1 USB(タイプB) × 1
制御端子	リモート入力(ミニDIN 8ピン RS-232C メス) × 1

使用環境

動作条件	温度 5 ~ 35 湿度 30% ~ 80%(結露なきこと)
保存条件	温度 - 10 ~ 50 湿度 20% ~ 80%(結露なきこと)

この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

外形寸法



单位：mm

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのもと大切に保存してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後、最低5年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECフィールディング株式会社の支店・営業所にお問い合わせいたします。

各地の支店・営業所については、別紙一覧表をご覧ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?」と思ったら(J-18ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	XGAデジタル資料提示装置
形名	DV11J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎() -
-------	---------	--------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・出張料
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お問い合わせは

NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター
0120-610161

受付 9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

XGAデジタル資料提示装置

DV11J

取扱説明書

2003年6月 初版

NECビューテクノロジー株式会社

第二販売推進本部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル

TEL(03)5232-6148(ダイヤルイン)

© NEC Viewtechnology, Ltd. 2003 Printed in China
NECビューテクノロジー株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

NEC